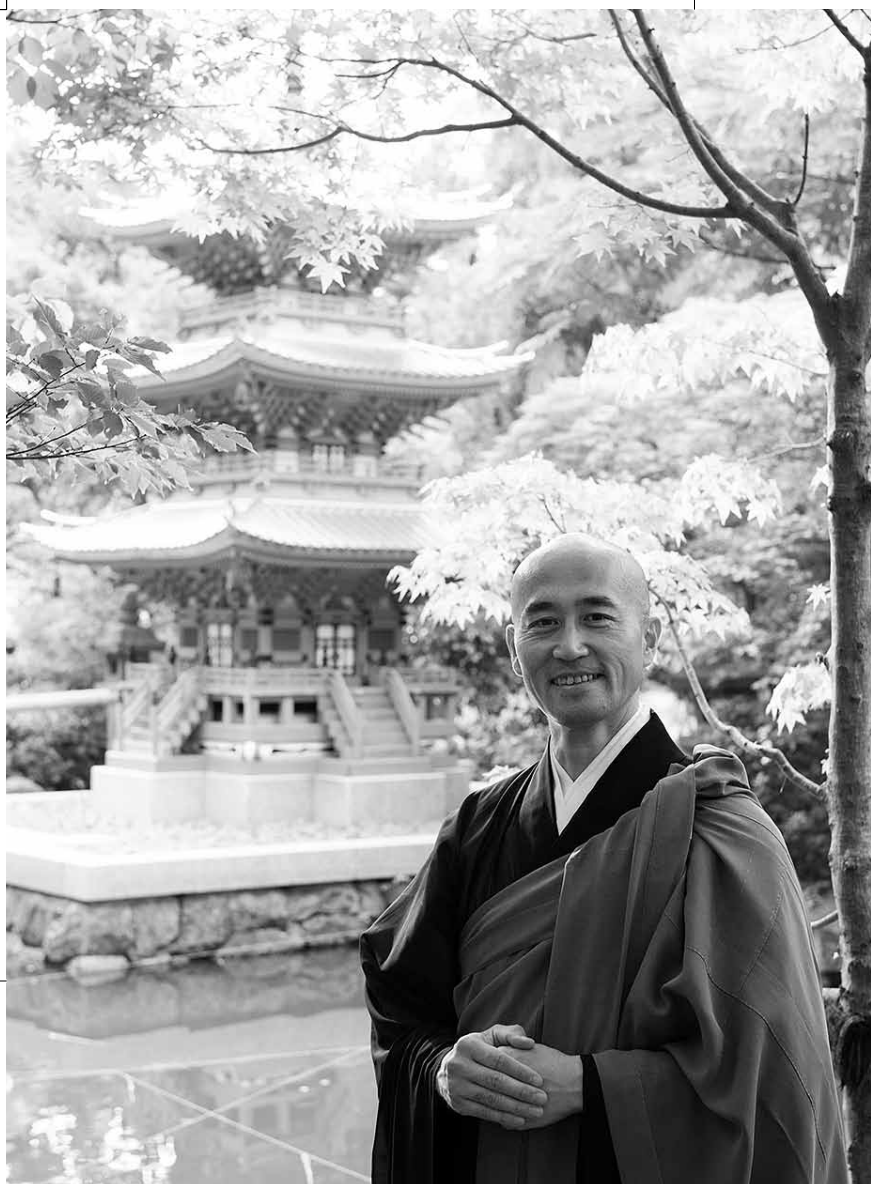


◎インタビュー②

米国の最新経営導入で顧客満足を追求！

慈眼山 瑞岩寺 (曹洞宗、群馬県太田市) 住職 長谷川俊道さん



長谷川俊道 (はせがわしゅんどう) 住職。写真提供：瑞岩寺

人間を変える永平寺の修行

大学卒業後、福井県の永平寺(曹洞宗の大本山)で三年余り修行しました。朝三時に起床、雪が降ろうが裸足のまま掃除をするので、身体的な苦しさがあるのは事実ですが、実は楽なんです。一つは、娑婆しやばの苦しみであるお金が必要ないこと。作務衣は支給されるし、生活費のために稼ぐ必要がない。「涅槃金ねはんきん」と言って、自分が修行中に亡くなった時のお葬式代として、行李こまじり(簾すだなどで編んだ葛籠つらかご)の一番下に二千円を忍ばせておくだけでよく、後はまったく必要ないんです。

もう一つは、恋愛の苦しみがないこと。入山前に盛り上がった人はキツイかも知れないけれど



お坊さんバラエティー『ぶっっちゃけ寺』に出演する長谷川
住職（前列中央）。写真提供：瑞岩寺

ど、完全な体育会系男子社会です。娑婆との縁はほとんど切れた状態なので、彼女がいる人は大抵別れてしまいます（笑）。

また永平寺では、年齢に関係なく、一秒でも先に入ったほうが、修行中は先輩であって、先輩が「黒」と言ったら、白いものも黒になりますが、それ以外に地位や名誉というものはありません。つまり、金・異性・地位・名誉という「人の欲」が一切働かない世界なのです。

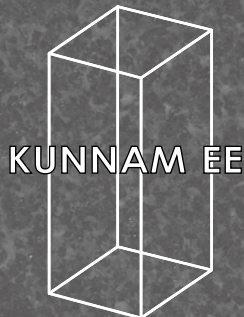
「悟りの境地」とまでは言いませんが、永平寺での修行は、人間を変えるものがあります。テレビやラジオ、インターネットもなく、世間から完全に隔離された状態ですが、山に籠こもっていると、「そういうものは要らない」と気づきます。今でも必要最低限のだけで生活しています。私はお坊さんバラエティー『ぶっっちゃけ寺』（テレビ朝日系）というテレビ番組に出演していますが、自宅にテレビはなく、今でも見ることはありません（笑）。外部の情報は、そのまま鵜呑みにできない部分もありますが、新聞があれば充分です。

修行が終わると、娑婆に慣れるという意味もあって、同期の仲間五名と一緒に出発して約一カ月間、瑞岩寺まで托鉢をしながら帰りました。それこそ昔の人は行きも帰りも徒歩だったわけですからね。

曹洞宗のお寺は全国に約二万七千カ寺、各市に最低十〜二十カ寺くらいあるので、そこに泊まらせてもらう。翌朝、お経を読んで、掃除をして、食事をいただいて帰りますが、永平寺の修行僧ということで歓待され、お小遣いまでい

あの銘石クンナムEE 高田屋から！

原産地からお客様のお手元まで一貫した管理でお届けします



安心してお求めいただける
確かな本物の価値を
ぜひ一度高田屋でお確かめくださいませ。

品質主義



株式会社高田屋

本社：〒309-1231 茨城県桜川市木本145
Tel. (0296)-58-5860 Fax. (0296)-58-5977
製品営業所：〒309-1243 茨城県桜川市高久2115-5
Tel. (0296)-58-5811 Fax. (0296)-58-5865

たたくこともありました。

ある日、体調が良かったので五〇キロ歩くと、何もない山中で日が暮れてしまった。足には血

の道中でも人生相談とか悩み相談は頻繁にありました。それも自分にとってとても意味のある経験でした。

豆もできていました。東海道五十三次の宿場町が三三キロごとにあるのは、一日無理せずに歩

布教のためハワイのお寺へ

ける距離だから。それくらいだと次の日も楽に歩けるんです。永平寺から来た托鉢のお坊さんというの傍（そば）から見てもすぐわかりますから、帰り

永平寺では、後輩の指導に当たっていた南直哉（なみち）老師（福井県霊泉寺住職、青森県慈山菩提寺院代）と同じ国際部に配属され、英語も話せましたの

で、修行から戻ってしばらく

すると、開教師として渡米し、ハワイのお寺で七年半赴任しました。キリスト教やイスラム教といった宣教師の方々が、

海外でどのように布教しているのか、すごく興味があったのです。また、どの宗派にも言えることですが、修行が終わると大抵のお坊さんは墮落しがちです。自戒しないと、昼はゴルフ、夜は酒場へ行き、あるいはギャンブルにはまるよ

うなケースもあるでしょう。京都の祇園でよく遊んでいるのは、お坊さん・神主・歌舞伎役者などで、通称「白足袋族」と呼ばれます。そんなお坊さんに魅力は感じませんし、「自分もそうなるかも知れない」という不安があったので、

あえて外国に行き世界を見たいと思ったのです。ハワイのお寺はパールハーバー（真珠湾）の目の前にあつて、その檀家さんは日本から真珠湾攻撃を受けた人たちでした。日本人がハワイに移民したのは百年以上前のことで、彼らはシュガープランテーション（大農園のサトウキビ畑）で丸一日働いて一ドルしかもらえないとか、大変な苦勞をされている。

やがて永住を決意し、子や孫が生まれますが、第二次世界大戦が勃発すると、彼らは自分の両親が暮らす母国に対して刃（やいば）を向けなくてはならなかったのです。日本に帰っても日本語が話せないの、異国人として石を投げつけられることもあったとか。それでも彼らは日本を恨んでいません。

ちなみに、ホノルルのパンチボールの丘にある有名な墓地は、国立の軍人さんの墓地なので、

長谷川俊道（はせがわしゅんどう）

天文12年（1543年）創建の瑞岩寺住職。社会福祉法人毛里田睦会理事長（札幌と横浜で保育園、太田市で児童クラブを運営。来年度より特養もスタート）。毛里田保育園園長。

1967年2月27日、群馬県生まれ。駒澤大学仏教学部禅学科卒業後、福井県の永平寺で3年余り修行。その後、東京・東久留米のお寺を経て、ハワイのお寺に赴任。お寺が財務公開していることや葬儀の安さ（1回100ドル）などにカルチャーショックを受ける。

ハワイで7年半住職として過ごした後、日本に帰国し、実家の瑞岩寺副住職に就任するも経営状況の悪さに愕然とし、まずは補助金に頼らない保育園経営に着手。ISO9001を取得するなど顧客満足度の向上に取り組む。当時56%だった顧客満足度は95%まで上昇。今では他県からも園児がくるほどの人気保育園となる。

お寺ではコンサートや講演会を主催したり、周囲の大反対を押し切って収支計算書をホームページにアップし、財務諸表を檀家に配布するなど大胆な改革を断行。月4回無料配信するポッドキャスト番組「HASEさんの金曜は聴きこみ寺」（リスナー3万人、累計DL数は約58万回）では、人生相談・悩み相談も行っている。

モットーは、すべての人に「あなたに会えてよかった」と言われること。夢は、境内に特別養護老人ホームやデイケアサービスなどの複合施設を建立し、「生老病死」の四苦に寄り添うお寺を実現すること。

費用はすべて国が負担してくれます。一般の墓地はマノア通り近辺にあって、日系人の墓地に行けば、法輪のマークが入った日本式のお墓も立っています。あれは日系一世の方たちが日本から持ってきたものです。ただ日系でも三々四世になると、芝生の上に石板を置く一般的なプレート型が主流となっています。

キリスト教徒は「死後は神のもとに召めされる」と考えていますので、アメリカ人の遺骨やお墓に対する執着心は、日本人より少ないようです。日本では火葬に立ち会って、お骨上げの際に「これが歯で、こちらが喉のど仏です」などと説明しますが、アメリカではそういうことは一切しません。遺体を火葬業者に引渡すと、焼骨を粉状に粉碎し、ジュラルミン製の容器に入れて返されるので、遺骨をまじまじと見ることはありません。

またキリスト教徒の中には、「肉体がないと復活できない」と信じている人もいるため、遺体を防腐・殺菌処理して生前に近い形で残すエンバーミングも普通に行なわれています。遺体をそのまま棺に入れて土葬しますが、一定の時

期が経ってから火葬するケースもあります。

文化の違いと言えば、日本のお彼岸は昼と夜の長さは同じとなっていますが、ハワイでは昼夜の時間が同じではないので、「西国浄土に近づけるよう西に向かって…」というような法話はありませんでした(笑)。

幽霊は存在しない

仏教的な考えでは、基本的に死後に引導を渡されたらあの世へ行って帰ってくることはありません。しかし、日本人の宗教感覚からすると、亡くなってもホトケ様として存在し、普段はお墓や仏壇のお位牌にいるけれど、お彼岸やお盆になると先祖の霊や魂が戻ってくると信じられています。

『ぶっちゃけ寺』では、女性タレントから「お坊さんは幽霊が見えるんですよね」と質問されたんですが、出演者のお坊さんは全員「見えません」という答えでした。私たちは別に幽霊を見るために修行をしているわけではなくて、人が生きている真理を知りたくて、悟りを求めていろいろ修行をしているわけです。

ISO9002認証取得



誠実に、そして真剣に、
製品品質の安定・向上に努める。

それが私たちの姿勢です。

® FUJIAN HUIJIAN CHENGSHENG STONE CO.,LTD
福建省惠安誠盛石業有限公司

中国福建省惠安县崇武鎮台湾街華峰路
TEL: +86-595-87681-239 FAX: +86-595-87683-065

◎日本語 **TEL: +86-595-87682-598**

E-mail: cs@chengshengstone.com

<http://www.chengshengstone.com>

お気軽に日本語でお問い合わせください。

だから、幽霊がいないことはよくわかっています。でも、若い人たちは「幽霊はいる」と本気で信じているのでビックリしました。先日講演した看護学校でも、幽霊の存在を信じるか聞いたところ、八割が「信じる」という結果でした。理由を聞くと、それには誰も答えられない。漫画やネットなどで見て、「幽霊はいる」と思い込んでいるのかも知れません。

霊界の宣伝マンを自称していた丹波〇〇さん、あるいはスピリチュアル・カウンセラーの江原△△さんにしても、テレビ的には面白いのでしょうか、「そんなの胡散臭さい」と正直思っています。そういう人たちの話を若い人たちが



長谷川住職の著書『お坊さんが教える「悟り」入門』（ディスカヴァー・トゥエンティワン）。ブログ (<http://ameblo.jp/zuiganji>) でも情報を発信している

真剣に信じているのが、私には驚きでした。「死んだら霊界に行く」と本気で信じているんです。ある占いに「水子がいる」と指摘されてお参りに来る方がいますが、日本で水子は年間十万人がいると言われていて、確率的に十人に一人は水子がいる計算になるんです。しかも「コールド・リーディング」という相手を洗脳する話術があつて、それで騙されてしまう。

そうした相談を受けた時は、「あなたは水子の霊を供養していないことに後悔の念を抱いて、病気や事故などがあると、それが不安となつて出てきているんです。別に水子の霊が悪さをしているわけではありません」と言つてあげると、皆さん安心して帰られます。

そもそも、我々はなぜ生まれてきたのか、前世や来世は存在するのか、誰にもわかりません。これに関するお釈迦様の正式見解は、「無記」です。「あるともないとも言わない」ということです。

それでも、我々はなぜ来世を信じるのか。それは、来世があるかわからないけれど、「最愛の家族や両親に会えると信じる」ことで、私たちの人生が豊かになる」ということなのです。これは『ぶつちやけ寺』でも話したんですが、放送ではカットされていました。テレビ的に面白くなかったのでしょうか（笑）。

ただ高齢の方に仏教の難しい話をしてもらわないので、「亡くなったお爺ちゃん天国で見守ってくれていますよ」などと言います。これは仏教で言う「嘘も方便」です。お釈迦様は、「人を善道に導く時のみ方便を使つても良い」とおっしゃっています。しかし、「あなたの肩に水子がいいます。供養しないと祟りがあります」というように、人を不安に陥れたり困らせるような使い方は「ご法度」で、やつてはいけません。

損得を超えた存在の大切さ

お釈迦様は「人生には生老病死の四つの苦がある」とも述べていますが、その苦しみがあるにも関わらず「五体満足、無事生まれてくれてありがとう」「あなたがいるだけで幸せです」



葬儀用に本堂に飾り付けた花祭壇。喪主家や会葬者が生花の代わりに「供花者」(お花料)としてお金を払い、それによって祭壇を作り上げる。これで費用を大幅に削減できる。写真提供：瑞岩寺

と受け止めてくれた人、その最たるものが両親です。その損得を超えて自己を認めてくれる存在があればこそ、私たちは安心して生きていけるのです。それは、その人に「大事にされた」「可愛がってくれた」という想いがあるからで、そうした想いや家族の絆は亡くなっても我々の心の中でいつまでも生きています。それは、ペットに対する想いも同じで、ペットを亡くされた老夫婦も毎週、お墓参りに来ています。

日本人がお骨やお墓を大事にするのは、それをモノではなく、心として捉えてきたから。行けるのにお墓参りに行かない人は、生前そういう関係を築けなかった人だと思えます。遺産争いが原因で「あいつの顔など見たくもない」とか、ひどいケースではお墓を建てない。山手線の車内に骨壺を置いてきて、引き取り手のない忘れ物として処分されることもあります。

私の先輩でもある埼玉県熊谷市の寺院では、遺骨をゆうパックで送って永代供養する「送骨」サービスを行っていますが、その中にはやはり生前に良い関係が築けず、お骨が粗末に扱われた結果もあるのではないかと思います。とて

も残念なことです。

先日もお葬式があって、亡くなった方のお孫さんに「お別れの手紙を書いてください」とお願いしました。三世代が同居していた頃は「いいですよ」と快諾してくれることが多かったけれど、今は「一緒に住んでいないから、特にエピソードもないし書けない」と。

お正月に来た時にお年玉をもらったり、旅行先で何かを買ってもらったとか、そういう話はあっても、今の子は何かで悩んだり苦しい時に、それを親身になって聞いてくれるお爺さん、お婆さんがいない。そういう損得を超えた生前のつながりがないから、お墓を大事にしなくなるのではないか。

棺桶・位牌はアマゾンで

二十年前と比べて、最近のお葬式は参列者の数も少なくなりました。昔は百五十人くらいでしたが、それが百二十、百人となり、今の平均は八十人です。いま流行の家族葬だと二十五人くらいでしょう。新聞に訃報を出さないと、さらに少なくなる。

そうになると、葬儀社に頼む必要がないので、瑞岩寺ではそれぞれの規模に合わせてお葬式も行ないます。大人数では対応できませんが、家族葬と同じ二十五名の参列者を想定した場合、お寺の書院でやると五万円で済みます。棺桶は一万八千円、骨壺が二千八百円、位牌と七本木がセットで千七百円など…。我々にはお布施がありますので、そこに利益を乗せる必要がないのです。

棺桶はアマゾンで注文すると翌日届くので、在庫として置いてあります。うるし塗りの位牌も戒名を彫った状態（字彫りは追加料金）で届けてくれます。もちろん、仏壇も売っています。誰でもどこでもアマゾンから直接買えるし、お葬式に必要なものは遺体搬送車から納棺師、料理などもすべて外部に依頼すれば手配できる、そういう時代なんです。

墓石についても自分でいろいろ調べて、現在は茨城の業者から直接仕入れていきます。理由としては、まずお寺の収入として繰り入れられないこと。景気の落ち込みが長引いていることから、葬儀費用も全体的に下がっていて、「お布

施はこれしか出せませんが、これでお願します」ということもあります。

仏壇も墓石も国内で加工していた時代は、作るのに時間が掛かりましたが、今は中国で安く作れるし、完成品を仕入れることができます。墓石も永代使用料や開眼法要などが入るので、やはり利益を乗せる必要がないのです。だから、一般の石材店さんには申し訳ないのですが、金額で負けることはありません。ただし日本のお寺に洋型の墓石は合わないのです、形は和型のみとし、寸法と高さも統一しています。

それでも仏像や石像などは未だに良いものは美に対する感覚に違いがあるのか、どうしても中国人っぽい顔立ちになってしまふ。手先もすつきりとした緊張感の感じられるものが理想ですが、中国のものはグローブを着けたようにボテッとした感じなので、水子供養の観音様を作った

時はメールで確認しながら五回くらい作り直しました。

一般墓地以外では、個人や家族向け、夫婦向けの樹木葬、合同葬など様々な永代供養墓を用意しています。樹木葬は特に女性に人気で、お婆ちゃんや若い女性からも支持されています。中には想定外の事例もあつて、息子さんが二人いてお墓もあるのに樹木葬を選んだお婆ちゃんが上手くいっていないのかも知れませんね。

散骨は、どうしてもお金が出せないケース、たとえば「音信のない伯父さんが亡くなったたけ



中国工場とメールで確認しながら、5回の修正を経て完成した水子供養の観音様。写真提供：瑞岩寺

れど、自分が一番近い親戚なので遺骨を預かることになった。でも、お金は掛けられない」という場合で、その時は専門業者を紹介していただきます。いろんなケースを想定しないとお寺として対応できないので、気がつく、いろんな永代供養墓ができていたという状況です（笑）。

私もハワイで海洋散骨をした経験があつて、船に乗って沖に出ますが、風が結構強くて、バツと撒くと自分の口の中に入ってしまふことがあつた。だから、遺灰が戻ってこないように風上に立つて静かに撒かないといけないんです。

石材業界は、どこでも安売りをしている、大手が軒並み仕事をさらっていくような構図になっていきます。小規模経営の石材店は、富山の薬売りみたいに「痺しびいとところに手が届く」というか、地元の寺院としっかり連携して、丁寧な仕事をしないと生き残れないのではないかと。

たとえば、納骨式で天候が悪い時は、前もってテントを張っておいて、お施主さんが濡れないようにしてあげるとか、法事がある時に何かお手伝いをするとか、大手がやらないことまでフォローして、既存の良いお客様をどれだけ確

保できるかに掛かっていると思います。

ゆりかごから墓場まで

いずれにせよ、瑞岩寺で葬儀・仏壇・お墓・水子供養・ペット墓などの受け皿を用意しているのは、うちの檀家さんに、真心のこもった、より良いサービスを提供することが目的です。あくまでも檀家さんのためであつて、他のお寺の仕事まで取ろうとは微塵みじんも考えていません。まさしく「ゆりかごから墓場まで」。保育園はすでにありますが、来年から特別養護や老人ホーム、デイサービスも始める予定です。

檀家さんの家でご不幸があつた時は、枕経を読む時などに、ご遺族の方に故人の写真を沢山用意してもらい、それでオリジナル動画を自分で制作しています。

BGMとメッセージはその時々に合わせて内容を変えており、たとえばBGMは、ミスターチルドレンの桜井和寿さんがボーカルを務めるBank Bandの『糸』（作詞・作曲：中島みゆき）——「なぜ巡り会うのかを、私たちは何も知らない…。縦の糸はあなた。横の糸は私。

「かけがえのないお墓」って何だろう？



ファントニーがお手伝いします。

- ・ファントニー立体彫刻
- ・文字彫刻
- ・墓石デザインスケッチ提案

株式会社 **ファントニー** FUKUISHI

〒963-4204 福島県田村市船引町大字堀越字堰下195
TEL:0247(85)2914(代) FAX:0247(85)2617
<http://www.fukuishi.jp/>





大勢の来場者で本堂が埋め尽くされたジャーナリスト鳥越俊太郎さんの講演会。写真上は鳥越さん（右側）とのツーショット。
写真提供：瑞岩寺



織りなす布は：」という曲だったり、長瀬剛さんのベストアルバム『YAMATO』とか、中島啓江さんの『生きるものの歌』とか…。

自分のCDコレクションが五百枚以上あるので、そこから「これ」というものを選んでいきます。故人が好きだったクラシックや洋楽、あるいは読売ジャイアンツの大ファンだったお爺さんが亡くなった時は、その応援歌を使ったこともあります（笑）。

その動画をお葬式の時、私が読経し、参列者がお焼香している最中に流し、故人の在りし日を偲んでいただきます。人は、その人との関係を思い出すことで悲しむことができ、涙を流すことで癒されるのです。葬儀が終われば、そのDVDはお施主さんに差し上げています。

葬儀社でも同じような動画を流しますが、デザインーランドや富士山に登った時の写真など、単に楽しかった思い出を振り返るだけ。「だから何？」という印象です。でも、うちはこれも布教の一環なんです。大切な人との別れをしっかりと心に刻まないといけない。故人の写真は子どもの時から亡くなるまでのもので、そこ

には子や孫も一緒に写っていて、その時々思い出が蘇ってくる。それを見て皆で号泣しています。そういうお葬式だと、お葬式の価値が上がって、忘れることがないのです。

これを五年前に始めた時は「何をやっているの？」という感じでしたが、今は理解してもらっています。当日は司会者まで泣いてしまつて、「ご任職のお葬式は、涙なしではできません。やりづらい」と言われることもあります（笑）。

こういう儀式を経験すれば、お墓を大事にするし、お参りもしてくれる。お墓参りや先祖供養の大事さについては普段から法話で説いているので、うちの檀家さんは皆さん、熱心にお参りに来ています。

講演会も布教の一環で、「この人の話を聞きたい」という人を自分で探して交渉しています。これまで「夜回り先生」こと水谷修さん、大腸癌であることを告白したジャーナリスト鳥越俊太郎さん、芥川賞作家で僧侶の玄侑宗久さんなど沢山の方に来ていただきました。

今度、「百ます計算」を世に広めた陰山英男さん、そしてニンテンドーDSのゲームソフト、

通称「脳トレ」（『脳を鍛える大人のDSトレーニング』など）を監修した川島隆太先生にも来ていただく予定です。いろんな人からいろんな話を聞くことが私のため、お寺のため、ひいては世間のためになると信じています。

息苦しさを感じる若者たち

檀家の皆さんには、「元気な時は来なくていい。何かしら悩みがある時にお寺に来てくださーい」と言っています。お子さんがダウン症などの障害をもっていたり、引きこもりだとか。また、親の介護や老人ホーム、デイサービスなどの相談にも乗り、生老病死というそれぞれの人生の節目でお坊さんとして関わられたらと思っています。

最近特に感じるのは、心の病を患っている若者が多いということです。毎朝五時三十分から坐禅して、六時から読経していますが、高校生や大学生など若い人がよく来ます。働き盛りの四十代とか、その上の団塊世代の人たちは、他にやりたいことが沢山あるのか、あまり来ません。とりわけ、自分の息子と同じ世代、十八〜

二十歳くらいの人たちが深刻に悩んでいます。

彼らに共通して言えるのは「息苦しい」と感じてのこと。昔は家族の中に役割分担があった、たとえば農家の家なら、長男は牛の世話、次男はやぎの乳搾り、三男は買出しとか決まっていました。「二人が欠けたら皆に迷惑が掛かる。自分が必要とされているんだ」と自覚できたんですが、今はコンビニに行けばすべて揃ってしまふ。一人くらいいなくても何も困らない。

必然的に「勉強だけやっていたらいいや」となりますが、成績が下がった途端に「何やってるの!」と言われてしまふ。これでは百年前より生き苦しいのではないか。

電車がよく運転見合わせになりますが、あの人身事故は大抵「自殺」だと思います（自殺者は年間三万弱）。特に勉強やスポーツができる子は「自分は成績が良いから親から大事にされているんだ」と思い込んでいる節があつて、それが何かの理由で躓いた時に、誰にも相談できないままいきなり死を選んでしまふ。

今はスマートフォンで変な動画を見たり、爆弾の作り方や自殺の方法を知ることができるし、

品質が未来に繋がる

墓石、外柵、彫刻、建築材、日本と26年の「実績」が「信用」を証明します。

<http://www.youzhistone.com> E-mail:info@youzhistone.com

泉州有志石材有限公司
惠安明剛石材有限公司

〒362131 中国福建省泉州市惠安县崇武鎮溪底工業区
TEL:+86-595-87685588 FAX:+86-595-87682279

有志石材



ミニプールで遊ぶ保育園児たち。写真提供：瑞岩寺

ナイフなども簡単に購入できます。分別のつかない小学生にスマートフォンを持たせるのは、その使い方を教えずにナイフを渡すのと同じことです。

LINEなどの通信アプリで友達とはいっても連絡が取れますが、その関係性は極めて薄っぺらいもの。電源を切れば、すぐブツと切れてしまう。それに依存して「メールを送ったのに

すぐ返事をくれない」と怒るような友達は、本当の友達ではありません。自分が困ったり泣いたり苦しい時、一緒に傍にいてくれる人が本当の友達なんです。

また、高齢者の死亡で多いのが、定年退職後に離婚して、老後を一人で過ごしているようなケースです。男性はそもそも料理ができないので、塩っ辛いものを食べたり、お酒を沢山飲んで、体を壊して二〜三年で、という事例がよく見られます。

保育園で顧客満足度を追求

保育園の園長に就任したのは十二年前のことですが、当時は少子化で国からの補助金も毎年減少し、経営的に危ない状況にありました。そこで、補助金に頼らない経営を目指すため、群馬県の保育園として初めてISO9001を取得するなど顧客満足度の向上に取り組みました。子どもたちは早寝早起き、午前中だけ勉強して、午後は遊び。夜は七時か八時に寝るという教育方針で、逆立ちや側転、そろばんなどがカリキュラムに組み込まれていて、学習効果は脳科学

でも立証されています。シナプス（神経細胞の情報伝達構造）を太く強くするんですが、うちの児童クラブでは暗算やそろばんで一級を取った子がいるし、頭の中にそろばんがあるので、三桁の掛け算もできます。私にはできないけれど（笑）。お陰様で現在は、太田市で一番人気の保育園となりました。そろばんはボケ防止のため、老人ホームでもやろうと思ってます（笑）。

アメリカの例に倣^{なま}って、お寺のお金はすべて会計士が管理し、財務諸表を公開しています。日本のお寺は、会計・人事・総務・営業・お掃除を全部一人でやらないといけません、これが結構大変なんです。

ハワイでは、お金の管理は会計士、お掃除は檀家さん、年間計画と予算立ては総代さんというように仕事を分担してくれる。お坊さんは給料をもらうだけ。引退後も、ワイキキにコンドミニアムを買ってくれるシステムがあるので一生安泰で、老後の心配はありません。

最近、少子高齢化と核家族で孫と会えないお年寄りが増えています。姑・小姑と仲が悪く、お嫁さんが孫に会わせない。そんなことをすれ

ば、自分も子どもに同じようなことをされるかも知れないのに。でも、老人ホームが来年完成したら、お爺さん・お婆さんと孫をここで会わせることができるのです。

人の死をしっかりと見せることが、仏教的な要素でもあります。親鸞さんの「白骨の御文」でも、お骨を見せることが大事だと説いています。ですから、うちでは「お爺ちゃん・お婆ちゃん」が亡くなったら、小学生とか幼稚園生もお葬式に行つて、ぜひお骨上げをしてください」と話しています。昨日生きていたお婆ちゃんが骨になつている。これはすごくショックなことですが、でも、そのショックによつて「人はいつか亡くなる」と理解できるんです。

今は人を殺すようなゲームもありますが、現実でも「リセットすれば生き返る」と本気で信じている人が千人に二人くらいいるそうです。カプトムシが死んだら、「電池を交換して」と言つた子もいるとか。そんな子は千人に二人どころか、一万人に一人いてもいいじゃないですか。

夜回り先生の水谷さんもおっしゃつていたように、二十四時間営業のコンビニは夜八時に閉

店してもいいのではないか。夜遅くまで営業しているから、中学生などの溜まり場になるわけで、挙句の果てにさらわれて殺されるような事件が起きてしまう。

残業で帰宅の遅いお父さんのためにコンビニが営業する必要はなく、お母さんがおにぎりでも作ればいい。コンビニがあるから、お母さんにおにぎりを頼まない。だから、人と人が断絶することになるのです。

お釈迦様は二千年前、「人は便利になればなるほど墮落する」とおっしゃっています。二〇一五年、まさにその通りになっています。私にはお寺も自宅も保育園もあるけれど、何に対しても執着がないことがお坊さんの悟りであつて、ここから追い出されても、どこでも生きていけるし、明日死んでも全然構わないと思つています。遺書も書いてあつて、奥さんに渡してあります。

楽しく、豊かな人生とするために

テレビ出演や講演、執筆などの依頼があれば、基本的に都合が良ければすべてお受けしていま

信用、そして品質

私たちランウェイトレーディングは中国の自社工場で、「信用」「品質」に重点を置き、日本産各種のほか各種原石から、責任を持って製品加工をしています。

取扱日本産石種：大島石、天山石、万成石、北木石、真壁小目、青木石、唐原石など



本社：ランウェイトレーディング(株)
住所：大阪府守口市本町2-5-18 守口CIDビル9F
TEL: 06-6994-5566 FAX: 06-6994-5600
E-mail: stone@lanwei-trading.co.jp

自社工場：漳州翔珏石業有限公司
住所：漳州長泰縣古農農場銀塘工業区
TEL: +86-596-8357700 FAX: +86-596-8357880

中国窓口：廈門嵐巍進出口有限公司
住所：廈門市思明区湖濱南路20号基金大廈
TEL: +86-592-2282780 (日本語可)
FAX: +86-592-2282770
E-mail: lanweixm@lanwei-trading.co.jp



境内に3000本のロウソクの火を灯して行なわれた寺子屋ライブ。写真提供：瑞岩寺

す。それによっていろんな人に会えるし、相手が嫌でなければ、その縁を一生続けようと思っっているからです。

それはなぜか。いろんな人と付き合いと、自分の知らない世界や人脈を広げることができるからです。この世間を動かしている年代は大体三十五〜五十五歳くらいの人たちですが、この年代の人とどれだけ人脈を築けるか、それで人生の豊かさが決まると思うのです。

大抵の人は名刺をもらっても、それを引き出しに入れてお終い。でも私は、その人がFacebookやTwitterをやっているれば、別れた直後にすぐ登録します。その後、出世とともにそれぞれの人脈が広がると、大抵の人が「あの人も知り合いなんだ」とどこかでつながっていることに気付きます。そして、そういう人たちは利他の心があり、徳が高い。徳が高い人は世間から押し上げられ、さらに世間を

動かす人になっている。そういう方とのご縁が、人生を楽しく、豊かにしてくれると信じているのです。

瑞岩寺では「すべての人に仏様の知恵と慈悲を」をモットーとして実践しています。仏教では「無」とか「空」などと言いますが、なるべく自分の欲から離れて、ノーベル賞の受賞者のように世のため人のために尽くし、苦しんでいる人たちには自ら手を差し伸べてあげる。願わくは、そういう人生を自分でも送りたいと思っています。

これまでお葬式にかれこれ千件以上携わっているのでよくわかるんですが、人生というのはある日突然終わります。昨日まで元気だった人が突然亡くなってしまいうので、人は毎日、心して生きないと後悔することになる。生き方と死に方、それを教えてくれるところがお寺だと思うのです。

◎慈眼山瑞岩寺

群馬県太田市矢田堀388

TEL 0276・37・1231

<http://www.zuiganji.com>